

のりちゃんマッスル

信愛幼稚園園長通信 NO.9

2024年4月19日

発行：横田 法子

22人のちゅうりっぴさんとほらさんに転入1人、ご家族も含めて新しい仲間を迎えて新年度がスタートしました。おねえちゃんおにいちゃんになったほらぐみさん「1番大きなクラス」になったゆりぐみさんは、それぞれの名札と帽子の色が誇らしげ。朝のおうちの人とのさよならをがんばったり、先生のお話を聞く姿勢に変化が見えたり、苦手なおかずも口に運んでみたり、苦手だった遊具にチャレンジしたり、泣いているちゅうりっぴさんに声をかけたり...。進級により「おおきくなった」ことを自覚し胸おどるこの時期、備えられている力をぐぐぐーっと一気に伸ばす姿に感心させられます。

とりわけ新入園のお子さんの、幼稚園に順応していこうと格闘する姿には毎年感動を覚えます。「大好きなおうちの人を自分を知らない人の中に置き去りにして行く」こんな衝撃的な出来事に動揺しないはずがありません。この試練の受止め方や感情の発出の仕方はそれぞれですが、ストレスだということは間違いない。そのストレスを自分で対処するという大きなチャレンジに健気に挑み乗り越えようとしているお子さんの姿。日々発揮していく順応力、適応力。今年もほんとうにスゴいなあと感心します。

春休み、園庭の環境整備でこれまでになく木々や草花に向き合う機会を得ました。象徴的なのは80年以上の樹齢の杉の木です。落雷や虫害のため幹の内部が朽ちて失われてしまった杉の木は、水や養分を吸い上げるために細い細い「根」を木の上から地面に向かって伸ばし、長く長く伸ばして地中に「根」を張っています。一見すると「根」には見えない、まるで垂直方向に伸びた細い枝のような「根」。置かれた場で環境で、一所懸命に一生懸命に生き延びようとする姿に圧倒されます。残念ながら、樹木医さんの指導により安全のため5月中に切り倒します。道路から「根」を眺めることができますので、杉の木の最期のねほり（根張り）をぜひお子さんと一緒にみてください。

そして思います。備えられた伸びようとする力、生きようとする力が存分に発揮されるために手間暇かけて「環境」を整えてあげるということがいかに大切かということも。こどもたちが備えられた伸びゆく力を存分に発揮できるように、2024年度も信愛幼稚園の「共育」の営みをかたちづくって行きます。試練を乗り越えたその先のお子さんの笑顔は最高です。その笑顔と一緒に分かち合えたら幸いです。ご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。